

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ルネサス 技術情報

〒100-0004
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号
 (日本ビル)
 TEL (03)5201-5081 (ダイヤルイン)
 株式会社 ルネサスソリューションズ
 ツール技術部

製品分類	開発環境		発行番号	TN-CSX-055A	Rev.	第1版
題名	H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラVer.6 リリース情報		情報分類	①.仕様変更 2.ドキュメント訂正追加等 3.使用上の注意事項 4.マスク変更 5.ライン変更		
適用製品	PS008CAS6-MWR PS008CAS6-SLR PS008CAS6-H7R	対象ロット等	関連資料	H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ、 アセンブラ、最適化リンケージエディタ ユーザーズマニュアル RJJ10B0049-0100H 第1版	有効期限	
		全ロット			永年	

H8S,H8/300 Series C/C++コンパイラパッケージをVer.6 にバージョンアップいたしました。
 詳しい修正内容については、添付資料の PS008CAS6-031007J をご参照ください。

添付：PS008CAS6-031007J

H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ Ver.6.0.00 アップデート内容

H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ Ver.6.0.00 アップデート内容

本パッケージのアップデート内容(機能追加等)を以下に示します。

ただし、項番 1,2 は PC 版のみです。High-performance Embedded Workshop、シミュレータ・デバッガは、Solaris 版、HP-UX 版には同梱されません。

1 High-performance Embedded Workshop (Ver. 3.0 -> Ver. 3.0.01)

1.1 エミュレータ用プロジェクトの表示

日本語版の HEW をインストールしたときに、エミュレータ用プロジェクト(プロジェクト名 : Debugger only -****)が表示するように改善しました。

1.2 ネットワークデータベース注意事項の対策

Windows(R) ME で表示されるネットワークデータベースエラーメッセージボックスの表示を抑止しました。

1.3 プロジェクトジェネレータ生成データの追加、修正

新たに以下の CPU のプロジェクト生成を追加しました。

H8SX/1650、H8/36014F、H8/36024F、H8/36037F、H8/36057F、H8/3694F、
H8/38000、H8/38001、H8/38002F、H8/38004F

また、以下の CPU の I/O 定義ファイル(iodef.h)を修正しました。

H8/3687

2 H8S,H8/300 シリーズシミュレータ・デバッガ (Ver. 5.0.00 -> Ver. 5.1.00)

2.1 H8SX シミュレータサポート

H8SX シミュレータをサポートしました。H8SX のデバッグが可能になります。

3 コンパイラ (Ver. 4.0.04 -> Ver. 6.0.00)

3.1 新 CPU のサポート

CPU 種別が H8SX のオブジェクトファイルの生成をサポートしました。

3.2 2byte サイズポインタのサポート (H8SX のみ)

__ptr16 キーワード指定か ptr16 オプション指定により 2byte サイズポインタが使用できます。H8SX のアドバンスモードとマキシマムモードで有効です。

3.3 アセンブル機能 (H8SX のみ)

__asm キーワード指定により、C/C++ソースプログラムの中にアセンブリ言語を記述することが可能です。

4 アセンブラ(Ver. 4.1 -> Ver. 6.0.01)

4.1 新 CPU のサポート

CPU 種別が H8SX のオブジェクトファイルの生成をサポートしました。

5 最適化リンケージエディタ (Ver. 7.1.07 -> Ver. 8.0.00)

5.1 新 CPU のサポート

CPU 種別が H8SX のオブジェクトファイルの入力をサポートしました。

5.2 メモリ使用量指定

memory オプション指定により、内部のメモリ使用量を指定することができます。

6 標準ライブラリ構築ツール (Ver. 1.0.02 -> Ver. 2.0.00)

6.1 リエントラントライブラリサポート

標準ライブラリ構築ツールで reent オプションを指定した場合、リエントラントライブラリが生成されます。

以上